

# アラ環女子、中国へ。 その四 完



いもねえさん

桂林の最終日。

どうする？

少数民族のたなだ、行くの無理かなあ。。。

うーん、行けるかどうかわからんけど、行ってみるかー。

というところから始まった。

まったくもって自由気ままだ。こういうところがお互いイラつかないのが気楽だ。

バスステーションかな、列車かなーと歩き始める。

ここ、駅みたいだ。案内のようなカウンターでガイドブックを差し出し息子が聞く。

列車じゃなくてバスだって。

バスストップが並ぶ。全然わかんないねー。

中国人の人が何やら言いつつまとわりつく。

where are you going? と言っているのはわかった。たなだの写真も持っていた。

しばらくそのあたりに並ぶバスストップを見ていた。

中国人の男女の旅行者らしき二人連れがいて、女性の方と息子が話している。

どうやら、行きたい場所が同じらしい。

そして、さっきからまとわりつく中国人が連れて行ってくれる、という交渉のようだ。

どうする？

その二人となら、値段も安くなる。

さらに、その二人は中国人だし、女性と息子は英語で何とか会話ができる。

じゃあ、行こう。

中国人の二人は兄、妹だった。妹は学生っぽかった。

兄の方は英語はしゃべれない。

中国人との交渉は兄と妹がやり、妹が英語で息子に伝え、息子は私に日本語で伝える。

値段は筆談だった。

5人が乗った車内は中国語、英語、日本語が入り混じる。

帰りは大声で怒鳴りあってるような会話だったので、値段のトラブルでもあったのかと思ったが、何事もなかったようだ。

その兄と妹は中国の北の方から旅行に来たということだった。

その車にしてよかった。バスなんてとても走るような道路ではなかった。

線路もない。

バスで行ってたら、途中でなすすべもなくさまよっていたらろう。

片道2時間ぐらいかかったような気がする。

高速道路も走ったが高速を出ると、どんどん道が悪くなる。

デコボコの穴を避けながら、車は進む。

ほこりっぽい道。

戦後走っていた三輪の車も、昔あったミゼットみたいな車も多い。荷台に人が乗っている。

交通網なんて何もない。観光バスなども見かけなくなる。

どんどん山奥へ入っていく。

そりゃあそうだ、少数民族たなだの世界におじゃまするのだから。

入り口で入園料をとられた。

その入り口からしか、たなだへは入れない。

左下の二人が一緒に行った中国人の兄妹。



最初は店が並んでいた。すぐにたなだが広がる。

登って登って、登って登る。

そこに暮らす人々は、毎日登り、降りるんだろうなあ。

道幅は広いところで1メートル。

すれちがうのがやっとだ。落ちるもん。

もちろん車など走れない。バイクも無理。時に階段だし。

馬はいたけれど、馬は畑だろうな。

病人が出たらかつぐしかない、そもそもたなだの病人はそのままじゃないかな。

あんな山の上はどうやって家を建てたのかね。

別世界だ。

すべて人力だろう。









登って登って、、、ハアハア、、、もうダメだ。

もうこれは登山だ。

こんなすりへった普通の靴で、、、

途中ハイヒールを手に持って靴下のまま歩いている女性がいた。無理だよなあ、、、

ちょろちょろ流れる水場では洗濯をしていた。

そこで、あの例のバケツが活躍するんだなあ。出稼ぎの人がぶら下げている大きめのバケツ！

にわとりも生活者の一員のようにその辺りを歩いている。

食べ物を大切にするんだろう、菜っ葉やいろんなものを干していた。

はちみつのような物を売っていたが、ピンは様々なリサイクルピン。

小鳥の羽根をとって原型のまま燻製にしたようなものを並べて売っている女性。







やっと一番上で見渡せる場所に行きついた。



すごいわ。あのたなだへ行って人力で作業をするんだろうなあ。  
生姜味の飲み物を飲んだ。



中国人の兄妹は里芋を蒸したものを食べていた。

いろんな物を売って現金収入にするんだろう。

おばあさんがバケツにみかんを入れて座っていた。

2個を渡し、ハウマッチ！ 通じないとは思ったが。。。

それでも天秤のようなもので測り、人差し指を1本立てた。1元ということだな、と1元のコインを渡した。

まるで初めて見たかのようにコインをながめていた。

コインはまだこらへんは流通してないのかもね。

そのおばあさんは、もしかしたらこのたなだから出たことがないのかもしれない。

生活物品を買うような店もなかった。

すみませんおじゃましました。

これから物を大切にします。

マカオ、まぶしい！

---

マカオの夜のまぶしさ！

もうギラギラ。

節電なんていうもんじゃない。公認のカジノがあるからねえ。

泊まったホテルの地下はカジノだったし。





いったい何時まで、、、

おいしかったパン屋、行ってみよう。地元のパン屋さんという感じの小さなパン屋さん。

夜9時過ぎてるからもうないかもね。エッグタルト、もう1回食べたいね。

いやー、まだ焼いていた。焼きたてをオープンから出している。

お客さんもいる。

鉄板から出して並べる時間もないぐらいだ。回転いいなー、このパン屋さん。

街中ライトアップ。ネオン、ギトギト。

高級な貴金属を売るお店、人がいっぱい。

お金持ってる人は持ってるのね、どこでも。

マカオという街、世界遺産に指定されてもいる。

カジノやらショッピング目当て、という人もいれば、地図を片手に世界遺産をめぐる人もいる。

私達は世界遺産をめぐる。寄り道もしながら。

時間をかければ歩いてまわれるし、どこもここも興味もてそうな街。

ここはいったいどこ？外国ではあるけれど、どこの国？というのがマカオかもね。

高層住宅がビッシリつまって、人口密度は東京の比ではないねー。











マカオ料理を食べようと息子が調べたお店。

日本語が話せる女性がいる、笑顔で対応してくれた。

サービスですと言って出してくれたスープ、名前は忘れた。表現のしようがないスープ。

まあ、量が多いこと！私は量に圧倒され、、、









## 香港の夜景

これは見とかなきゃ、と駅を降りて歩き出した。

100万ドルの夜景、ビクトリア・ピーク。

それにしても息子は一度ここへ来たんかい、というぐらいにスイスイ歩く。

こっちだな。

さすが地図というか、方向に強い！

複雑な歩道橋、ここをこう渡れば、、、とかなんとか。

えっビルに突っ込むんじゃないの？

明るいけど早すぎた？そんなことはなかった。

ここだ一、けっこうな人が登山電車に乗るために並んでいた。



あれだけの狭い土地に高層ビルがぎゅうぎゅうに建っている。

地震が起きたらどうなるんだろうね、海もストレスじゃない？

停電したらどうなるんだろ。



## 香港の風景

---

ショッピングにはあんまり興味がない。

香港のホテル高けー！と息子が言っていた。

泊まったのは、乾物問屋の並ぶ下町にあるホテルだった。

私、こういうところが好き。

乾物屋が並ぶ並ぶ、、、独特の乾物の臭い。

朝、地元の人が食べるという飲茶の店へ。

店内は朝からいっぱいの人。

相席で、横を通るワゴンから品物をとるのだけれど。。。。







朝からこんなに食べれないよ。みんなよく食べるわ。  
人の熱気と、オシャベリの声の大きさと、食器のガチャガチャの音と、、、  
圧倒されて、、、きっと地元の人一人分ぐらいの量だね、私達が食べたのは。

少し歩いて、デザートがおいしいという店に。  
ここはおちついて食べれた、  
それにしても量が多い。もっといろいろ食べたかったけれど、量が多すぎだよー。  
私ももっと若かったら食べられたかもしれないけれど、、、残念！息子はいっぱい食べていた。









地下鉄で女人街といわれる通菜街へ。

アメ横みたいな通り。どこまで続くのかと思うぐらい。

歩いているだけで楽しい。

果物、バッグ、靴、Tシャツ、お花、、、ところ狭しと何でもあった。

人がいっぱい買っていたので買って食べた。あんこ入りのお餅、できたてほやほや。

すごく安かった。すぐ食べた。こういう所にはグイグイ入って行って、ゼスチャーで買うのだ。







こんなに車も人も多い街。

2階建てのトラム、いっぱい走っていて乗ってみたかったけれど、今回は乗らなかった。



こんなものを食べたよ。

---

中国でおいしいものいっぱい食べてきたんでしょ？

よく聞かれた。

中国でおいしいものを食べてるのは、富裕層と観光客でしょ。

私は地元の人が食べてる物を食べたいの。

15日間の中国旅行で日本食が恋しいとか考えもしなかった。

日本にもどってきて思うのは、日本の食事がいちばんおいしい、自分で作ったのが。なあんてね

。

慣れでしょ、もう何年もかかって自分の味にってしまったから。

デジカメで写すのをつい忘れて食べてしまうけれど。。。

広州のホテルで朝息子が買ってきた飲茶というんかなあ。。。セイロを積み上げて蒸している風景は多かった。

レジ袋に直接入れるのが普通らしい。





広州で食べたこの昼ごはん、量が多すぎ！

何人かで食べるものなのかなあ。。。でも隣の席の私ぐらいのご夫婦、食べてたわ、もっと。







桂林はピーフンがおいしいとガイドブックにあった。

その店をめざして行った。

すごい人。ガイドブックにあったそのままを書いて持って行って正解、ではあったけれど。。。

。

並んで。安い。30円ぐらい、でも、コレ！スープの味はほとんどなし。

でもいっぱいの人が食べてるんだよねー、立ったまま食べてる人も。



七星公園の中で食べたのも安かったけれど。。。





寒い日だったので私は温かいのにしたけれど、乗っていたのはレバー！レバーで出汁をとったんじゃない？

とにかくレバー臭くて、ゴメン、食べれなかった。

息子は無難なものを食べておいしかったらしい。

辛くて辛くて手をつけられなかったのもあったなあ、、、



水がないからスイカジュース（メロンジュース）で口の中を冷ました。2杯も飲んだ。

マカオを歩いていて裏道に入ると、ロケ地のような不思議な通りが。。。  
ここは食堂街みたい。お腹もすいてどうしようかと思っていたところだ。  
雑誌に載ったと大きく出ていた店に入った。





見たとたん、無理だと思った。大盛りを頼んではない。量が多すぎ！  
息子は帝王チャーハンという、一番人気のものを頼んだが。。

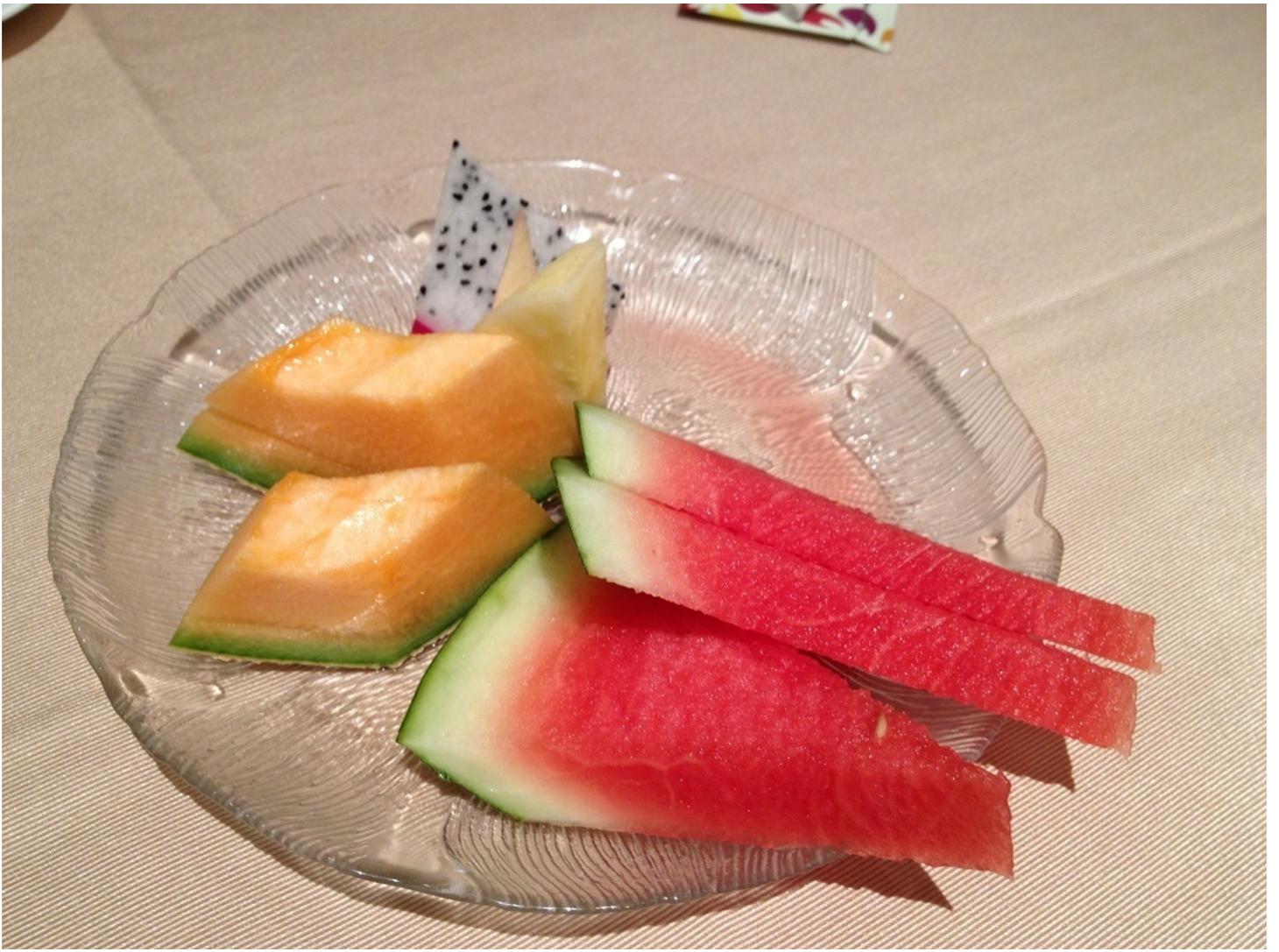
ちょっといい所で夕ご飯食べる？と息子。いいよ。  
やっぱり私には量が多すぎだ。もともと中華というのは量が多いものね。  
残したー、ゴメンね。ジャスミンティーと果物がおいしかったなんていったらおこられるよね。











## 広州 上下九路の周辺は面白い

地下鉄で沙面まで行って異国の感じを堪能しそのまま上下九路へ。

もう、ここはずっと庶民的。

中心部なのですが、オシャレな部分も近代的な部分も、古い歴史を感じさせる建物も。

高層ビルも高層住宅もいっぱいだ。

日曜日だったせいか人がいっぱい！出店もいっぱい。

オシャレなようで、庶民的。

安売りの呼び込み、ここは一樣に台の上に乗って手をたたくだねー。

ホント、安い。

大きな袋に買込んでいる人も。









私はたこ焼き、タピオカのメロンのようなものを指差して買った。  
たこ焼きは甘っ！これなんでこんなに甘いのか？





ちょっと裏通りは、路地で料理を作っている。昼時だったから、これを入れたビニール袋をもち歩いている人も。  
商店の人も店番しながら、食べている。





くつ下3足100円ぐらい、と安かったけれど手にとりはするものの結局買わなかった。  
疲れたー。

## 帰地について

---

朝早い出発だった。

空港ホテルは朝7時30分に出た。

天気は快晴！

飛行機は雲の中に入ることなく、まるで地図を見ているようだった。

機内の画像でどこら辺を飛んでいるのかはわかるのだが、、、

頭に地形がイマイチはっていない。

富士山見えた！



